

サステナブル環境ビジネス展開事業助成金

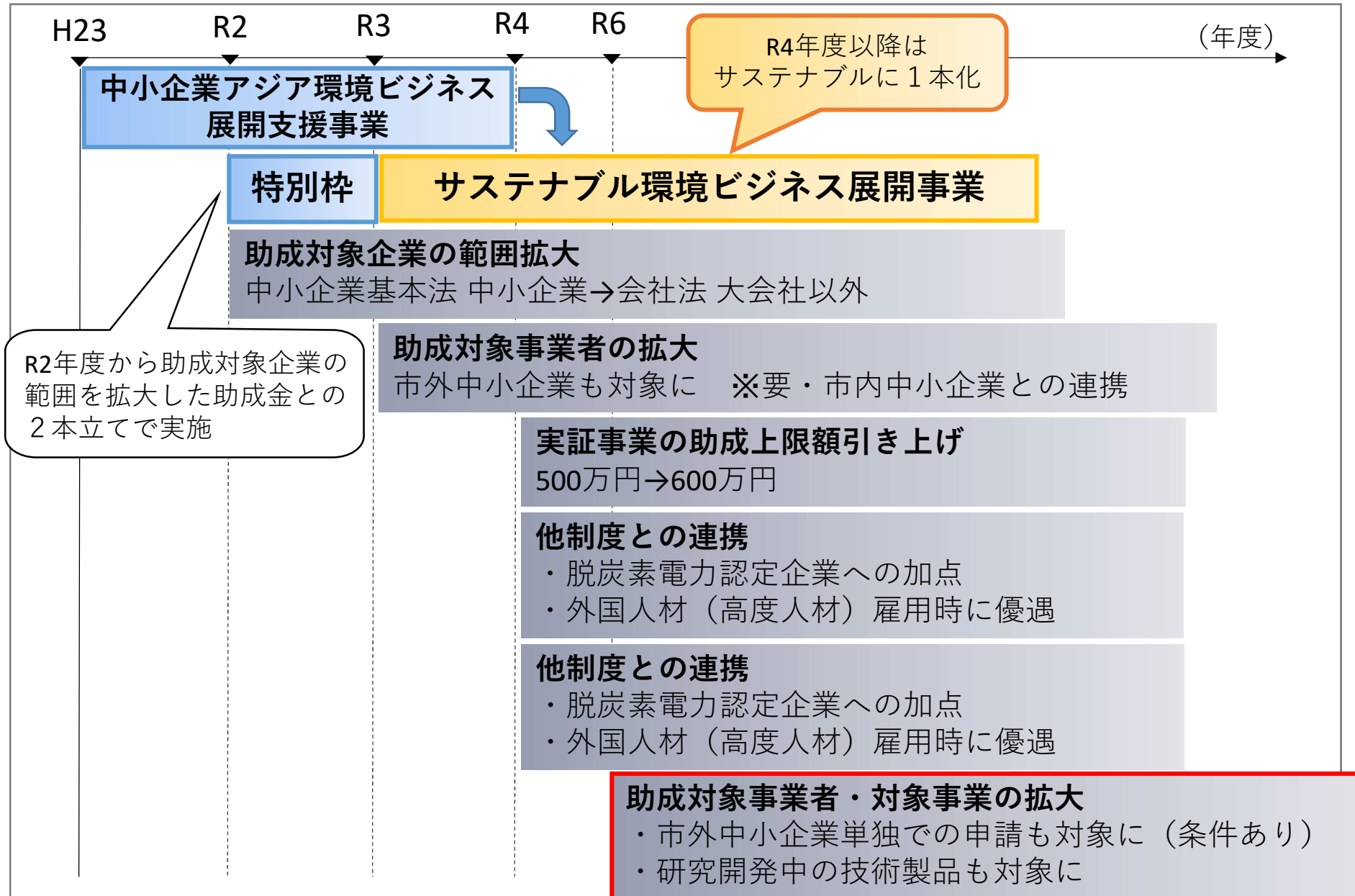


北九州市
環境局 環境国際戦略課
令和6年4月4日



北九州市振替マスコットキャラクター
いたん&ブラックいたん

本市の助成金制度の変遷



事業概要

1 助成内容

(1) 対象案件

環境への負荷低減に寄与し、「SDGs推進」及び「サーキュラーエコノミー推進」に資すると認められる環境関連技術・製品による、

- ①現地ニーズに適合させるための実証試験
- ②ビジネスモデル構築のためのFS

対象案件のイメージ

実証	既に国内で販売中もしくは研究開発中の技術・製品であり、それを海外展開しようとして現地で準備を進めている案件で、本事業の補助により、現地ニーズに合わせた仕様に変更して実証試験をすることで、売り先の理解が深まり、確実な販路促進につながるもの。
FS	既に国内で販売中もしくは研究開発中の技術・製品であり、それを海外展開するための想定国・地域におけるビジネスモデルを構築するもの。

採択実績（令和2年度～令和5年度）

年度	実証/FS	採択企業	事業名
令和2	実証	(株)ビートルエンジニアリング	インドネシアの都市廃棄物を活用した国営肥料会社との堆肥化実証事業
	FS	アマタ(株)	産業廃棄物のセメント代替原料・燃料化事業のインドネシア展開可能性調査
		(株)ウエルクリエイト	マレーシア国における安全な野菜の安定確保と栄養状態の改善に資するサプライチェーン構築のための調査事業
		シャボン玉石けん(株)	気候変動に深刻な影響を及ぼすタイ国の森林火災に対応する低環境負荷型石けん系消火剤のFS調査
	(株)ワンワールド	海洋ごみを直接処理し燃料油・炭に再生資源化する油化炭化装置	
令和3	FS	アマタ(株)	産業廃棄物のセメント代替原料・燃料化事業のインドネシア展開可能性調査
		(株)ビートルエンジニアリング	インドネシアの廃棄物最終処分場における資源循環可能性調査事業
		シャボン玉石けん(株)	気候変動に深刻な影響を及ぼすタイ国の森林火災に対応する低環境負荷型石けん系消火剤のFS調査
令和4	実証	シャボン玉石けん(株)	低環境負荷型石けん系消火剤のタイ国チェンマイでの実証事業
	FS	アステック入江(株)	東南アジア地域におけるASシステムの拡販に向けての有効性調査
令和5	実証	総合建物サービス(株)	カンボジア国シェムリアップ市で無分別廃棄物の再資源化実証実験
	FS	(株)ウエルクリエイト	マレーシア国における食品残渣発酵分解装置を核にしたメリーズシステムに関するビジネスモデル構築のための調査業務
		(株)松本光春商店	廃ガラス再資源化事業 カンボジア王国FS調査
		シャボン玉石けん(株)	森林火災が多発するタイ国チェンライ、メーホンソーン、スコータイ等の消火戦術調査

※令和2～3年度は、新型コロナウイルスの影響で海外渡航制限が継続しているため、特例として同一案件を継続採択した。

事業概要

1 助成内容

(2) 助成対象者

海外で実証試験またはF Sを実施する中小企業のうち、下記①～③のいずれかの該当するもの。

①市内中小企業

②市内中小企業と連携する市外中小企業

③市内に事務所、事業所を置き、新たに助成金の交付対象となる事業を開始しようとする中小企業

※ 市内企業：北九州市内に事業所を有する企業

※ 中小企業：会社法第二条第6項に規定する大会社に該当しない企業

※ 市内中小企業と連携：

市内中小企業と共同で事業を実施する、または同社が保有する環境関連技術や製品を活用して事業を行うこと。

(3) 助成期間：採択決定（7月頃）後～2月末まで（1年以内）

(4) 助成金額	実証	助成限度額600万円（助成対象経費の1／2以内）
	F S	助成限度額200万円（助成対象経費の1／2以内）

(5) 助成対象経費

土木・建築工事費、機械装置等製作・購入費、保守・改造修理費、人件費(※)、
消耗品費、旅費、外注費、諸経費

※人件費は経費全体の40%以内

事業概要

2 審査基準

- (1) 実施体制・・・・・・・・事業実施体制が妥当か
- (2) 施策の適合性・・・・・・・・本市の環境施策に適合しているか
- (3) 事業化の可能性・・・・・・・・ビジネスモデルが明確で、早期の事業化が見込まれるか
- (4) 計画性・・・・・・・・【実証】事業の実証場所が確保され、実証内容が具体的か
【FS】事業の想定国・地域や調査内容が具体的か
- (5) 事業の優位性・・・・・・・・事業展開における競争的優位性が見込まれるか
- (6) 環境への負荷低減・・・・・・・・温室効果ガス削減など環境への負荷低減貢献度が高いか
- (7) 事業趣旨への適合性・・・・・・・・「SDGs推進」または「サーキュラーエコノミー推進」に資するか
- (8) 地域社会への還元・・・・・・・・将来的に市内経済への還元や地域の活性化に結びつくことが見込まれるか

北九州市脱炭素電力認定制度との連携

R4年度から「北九州市脱炭素電力認定制度」に認定されている場合は、審査の際、加点对象となります。



【R4～】他制度との連携

外国人社員の方の在留資格「高度専門職」の取得を支援します！

～「高度人材ポイント制度の特例」活用で、申請時に**10点加算**できます～

国家戦略特区・北九州市の「高度人材ポイント制度の特例」を活用いただくことで、外国人社員の方の**在留資格「高度専門職」の許可取得要件を緩和し、企業のダイバーシティの取組を支援します。**

高度人材ポイント制とは：「学歴」「職歴」「年収」などの規定された項目に該当するポイントの合計が70点以上の高度外国人材に対し、在留資格「高度専門職」を発行する制度

特例活用のメリット

「+10点」の特別加算により、「高度専門職」の許可を取得※しやすくなります。 ※合計70点以上

<在留資格の比較>

出入国管理上の優遇措置あり

<ポイント計算イメージ>

	技術・人文知識・国際業務	高度専門職
在留期間	中小企業は当初1年更新 (上場企業等は5年更新)	5年更新
永住許可要件	在留歴10年	在留歴3年(70点以上) 在留歴1年(80点以上)
親の帯同	×	○
配偶者の就労	週28時間以内の 資格外活動のみ	「技術・人文知識・国際業務」 「研究」「教育」「興行」分野
入国管理局での 在留手続き優先処理	×	○

項目	要件	点数
学歴	日本の大学・ 大学院卒業	10点
	修士号	20点
職歴	3年以上5年未満	5点
年齢	30歳未満	15点
年収	400～500万円	10点
特別加算	特区特例	10点
合計		70点

高度外国人材がより活躍しやすい環境づくりにより、
優秀な人材の採用や多様な働き方の実現に繋がります！



【R4～】 他制度との連携

特例活用条件・申請の流れ

1 対象

下記の財政支援を受けている北九州市内の企業で就労する高度外国人材で、対象期間に在留資格の更新・変更・新規取得の申請をする方

- グリーンアジア国際戦略総合特区における固定資産税の課税免除
- 北九州市環境未来技術開発助成
- 北九州市サステナブル環境ビジネス展開事業助成金

2 対象期間

対象となる財政支援を受けている期間

3 特例活用申請の流れ

- ①対象財政支援の決定【北九州市⇒企業】
- ②特例活用にかかる企業認定申請【企業⇒北九州市】

申請書類：北九州市国家戦略特別区域高度人材外国人受入促進事業企業認定申請書、
対象財政支援を受けていることを証する書類(写)

申請先：企画調整局地方創生SDGs推進部企画課特区担当

※企業認定申請に関する詳細は、北九州市HPをご覧ください。

<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/kikaku/28500203.html>

- ③企業認定書の交付【北九州市⇒企業】
- ④在留資格更新等の申請【外国人社員の方⇒出入国在留管理局】

在留資格更新等の申請時に、提出書類として③企業認定書（写）を添付

※申請の流れ・提出書類等の詳細は、出入国在留管理庁HPをご確認下さい。

https://www.moj.go.jp/isa/publications/materials/newimmact_3_procedure_index.html

<申請イメージ>



令和6年度スケジュール

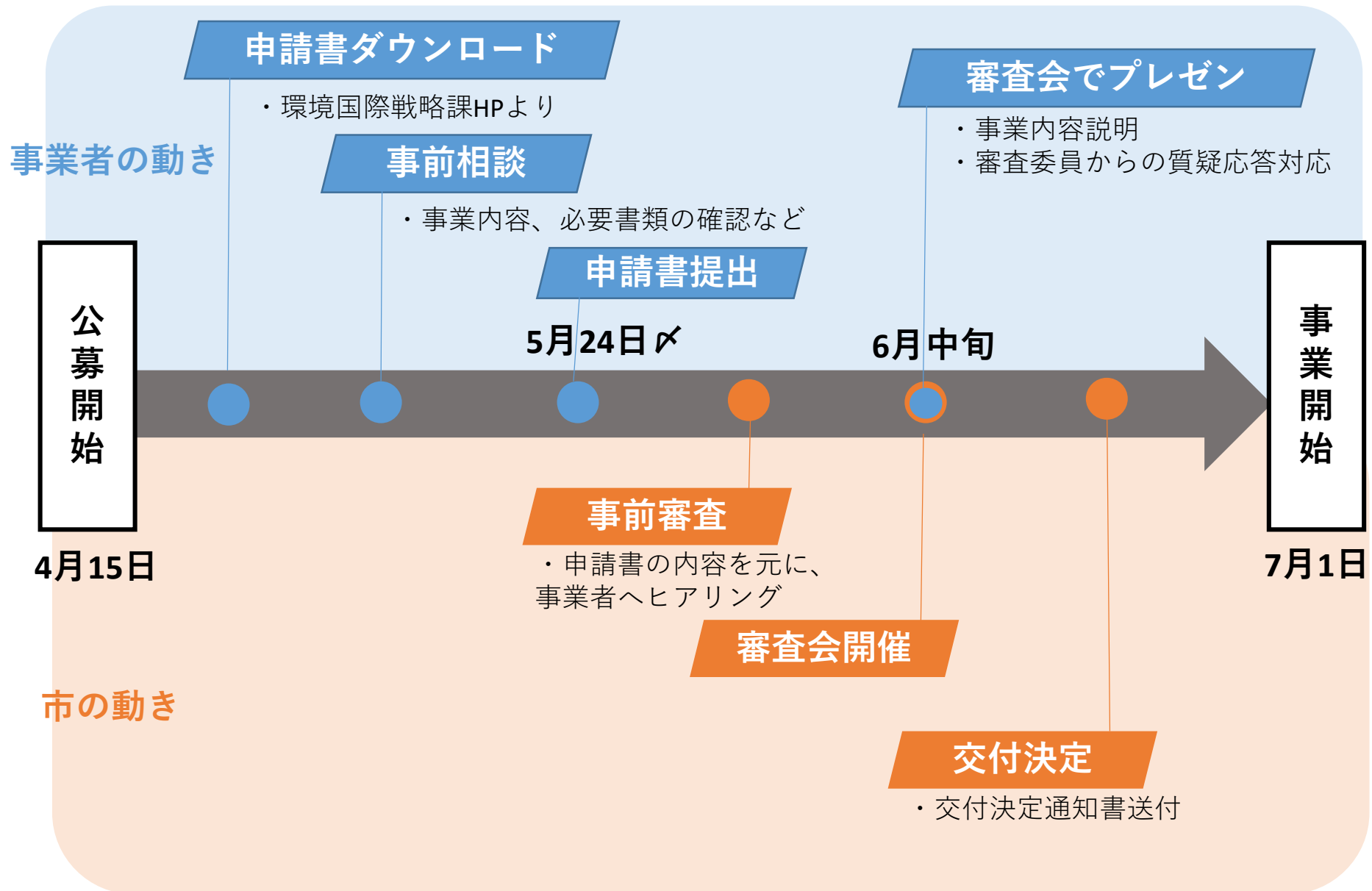
令和6年

4月15日（月）	公募開始
5月24日（金）	公募受付〆切
5月27日（月）～	当課によるヒアリング・事前評価
6月中旬	審査会
7月1日（予定）	採択決定
10月下旬	第1回中間検査（進捗確認・経理資料確認）

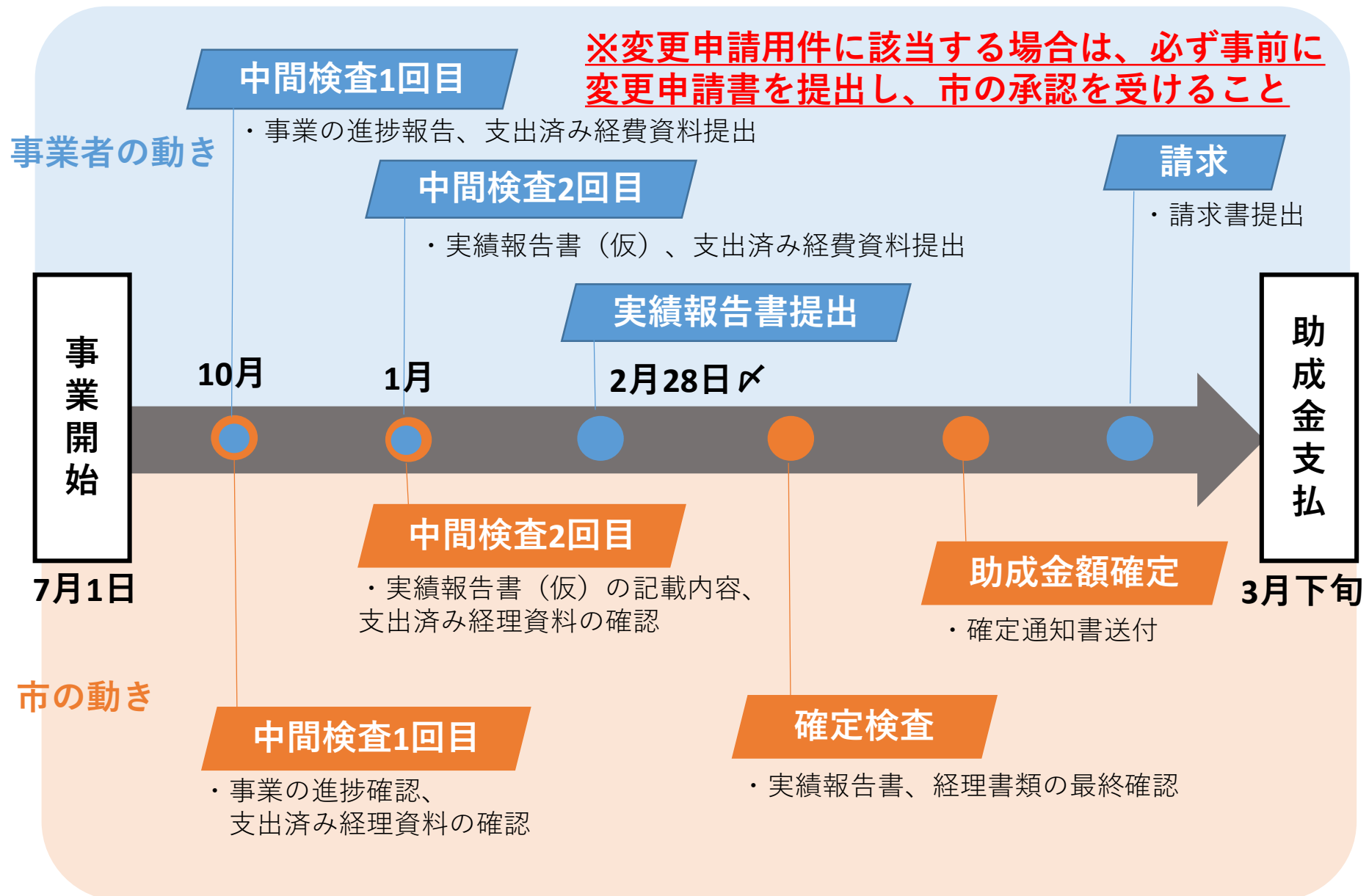
令和7年

1月中旬	第2回中間検査（実績報告案・経理資料確認）
2月28日（金）	実績報告〆切
～3月7日（金）	確定検査
3月下旬	助成金支払

手続きフロー（交付申請～交付決定まで）



手続きフロー（事業開始～支払まで）



資料のダウンロード方法



←QRコードから、下記のホームページへリンク

アジアカーボンニュートラルセンター



 センターについて

 一般の皆さま

 法人の皆さま

 実績

 ニュース

English ▾

 お問い合わせ

Kitakyushu Asia Center for Carbon Neutrality

アジアのいい未来を北九州から

SCROLL



 NEWS

2022.12.23 アジアカーボンニュートラルセンターへの名称変更について

資料のダウンロード方法

助成金紹介ページの場所について

①

The screenshot shows the website interface for the Asia Carbon Neutral Center. The top navigation bar includes the center's name, logo, and several menu items: 'センターについて', '一般の皆さま', '法人の皆さま' (highlighted with a red box and circled '1'), '実績', and 'ニュース'. A language selector is set to 'English'. A 'お問い合わせ' button is on the right. The main content area features a sidebar with '法人の皆さま' (highlighted with a red box and circled '2') and a main menu with items like 'アジア低炭素化への新たな仕組み', '各種補助金支援メニュー' (highlighted with a red box), and '提供できる主なサービス'. Below the main menu is a 'NEWS' section with a date '2022.12.23' and a title 'アジアカーボンニュートラルセンターへの名称変更について'. A manga-style illustration is visible on the left side of the page.

資料のダウンロード方法

アジアカーボンニュートラルセンター

センターについて 一般の皆さま 法人の皆さま 実績 ニュース English お問い合わせ

トップ > 法人の皆さま > 各種補助金支援メニュー

各種補助金支援メニュー

法人の皆さま

- アジア低炭素化への新たな仕組み
- 各種補助金支援メニュー
- 市独自の補助金メニュー
- 採択実績のある外部補助金メニュー

提供できる主なサービス

海外技術輸出支援の重点分野

市独自の補助金メニュー

アジアカーボンニュートラルセンターでは、市内企業の海外進出を支援しています。

サステナブル環境ビジネス展開事業

テーマ等説明・対象

↓

③ スクロール・・・

な仕組み

- 各種補助金支援メニュー
- 市独自の補助金メニュー
- 採択実績のある外部補助金メニュー

提供できる主なサービス

海外技術輸出支援の重点分野

北九州市低炭素新メカニズム構築事業(K-MRV)

※スケジュールは目安です。年度によって上記と異なる場合があります。

④

ダウンロードはこちら

こちらから申請書類をダウンロードして頂けます

サステナブル環境ビジネス展開支援事業